

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 福岡県
 農業委員会名： 田川市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2年 7月 20日

任期満了年月日 令和5年 7月 19日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	8
認定農業者に準ずる者	—	2
女性	—	1
40代以下	—	—
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	4	4	4

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	396
農業経営体数	265

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	251
女性	77
40代以下	12

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	42
基本構想水準到達者	9
認定新規就農者	2
農業参入法人	—
集落営農経営	1
特定農業団体	—
集落営農組織	1

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	614	48	—	—	—	662

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

①現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)／(A)
	662 ha	285 ha	43.1 %
課題	今後における農業従事者の減少、高齢化等による遊休農地の増加や相続による農地の分散が有効利用を図るうえで課題である。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

②目標

農地の集積の目標年度	令和 10 年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	5 ha	農地面積(C)	662 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	290 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)／(C)	43.8 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

①現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	3 ha	2 ha	1 ha
課題	用水の確保ができないなどの条件不利地が大半であることから対処方法を検討しているが一朝一夕には解消が進まない現状である。		

②目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	2 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0.4 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	1 ha
黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	鳥獣被害も関係しており、非農地判断も考慮しつつ、引き続き解消方法を検討する。

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	元年度新規参入者		2年度新規参入者		3年度新規参入者	
	0	経営体	0	経営体	0	経営体
	0	ha	0	ha	0	ha
課題	初期投資が高額なことや収入を得られるまでに時間がかかることなどが新規参入を困難にしている。その解決策として、国・県からの支援金のみならず市独自の支援(就農奨励金等)が必要不可欠であると思われるが、本市の脆弱な財政力が課題となっている。					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	33 ha	36 ha	44 ha	38 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	4.0 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う 農業委員の人数	13 人
		農地利用最適化推進委員の 人数	4 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
4年5月	農地の集積	経営の廃止・縮小を希望する高齢農家等の農地や利用権の設定期間が満了する農地についてリスト化を行い、農地の出し手と受け手の意向を踏まえたマッチングを行う。
4年8月	遊休農地の解消	農業委員とのチーム制による調査の徹底を図るとともに、再生利用が困難な農地については非農地判断を行い、守るべき農地を明確化する。
4年11月	農地の集積	地域における農業者等による協議の場を通じて、実現可能性のある「人・農地プラン」の作成と見直しに主体的に取り組む。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	未定	相談会名	就農相談会
参加者数	未定	開催場所	田川市役所
相談会の内容	<ul style="list-style-type: none"> 栽培品目の情報や栽培技術の習得方法 農地の借入について 資金の借入や就農者への支援策について 		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)